

令和 6 年度
全国学力・学習状況調査
八代市の結果概要

八代市教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査実施日 令和6年4月18日(木)

(2) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 調査の対象

- ・ 小学校第6学年の児童、中学校第3学年の生徒

(4) 調査の内容

- ・ 教科に関する調査（小学校：国語・算数、中学校：国語・数学）
- ・ 質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

2 教科に関する調査の概要

(1) 小学校 6 年生

【小学校 6 年生】	国語	算数
八代市	6 6 %	6 2 %
熊本県	6 7 %	6 2 %
全国	6 7 . 7 %	6 3 . 4 %

※ 表中の数値は平均正答率（％）、県及び市の値は国から整数値で公表

- ・ 国語及び算数で、熊本県とは同程度であるが、全国平均をやや下回っている。
- ・ 国語では「話すこと・聞くこと」、算数では「データの活用」等の内容に課題が見られる。

2 教科に関する調査の概要

(2) 中学校 3 年生

【中学校 3 年生】	国語	数学
八代市	5 4 %	4 5 %
熊本県	5 7 %	5 0 %
全国	5 8 . 1 %	5 2 . 5 %

※ 表中の数値は平均正答率（％）、県及び市の値は国から整数値で公表

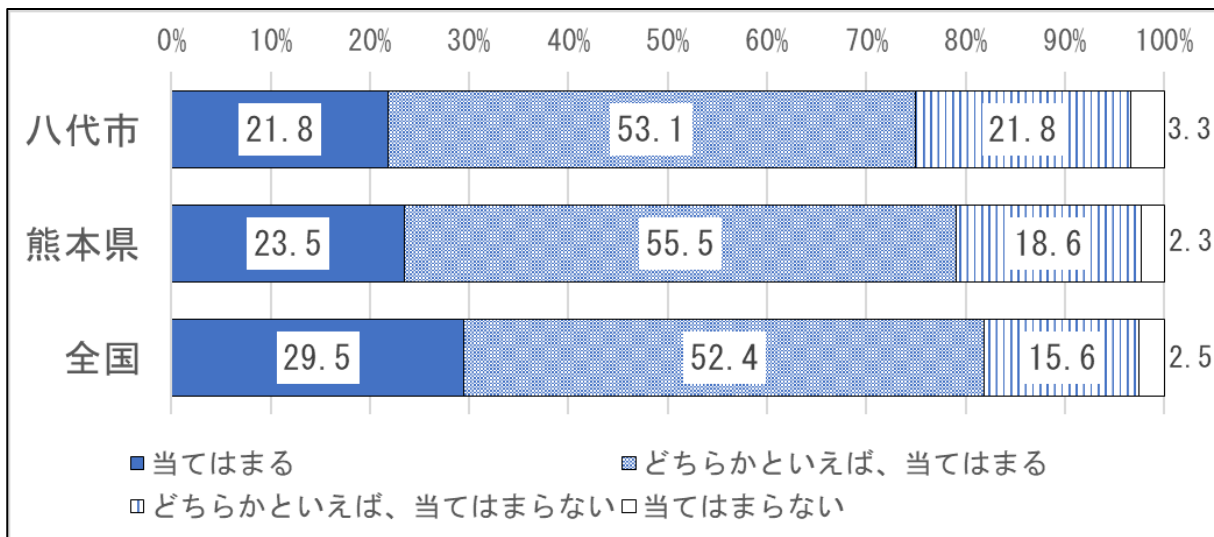
- ・ 国語及び数学で、熊本県及び全国平均を下回っている。
- ・ 国語では「読むこと」、算数では「データの活用」等の内容に課題が見られる。

3 質問紙に関する調査の主な結果（小中学校）

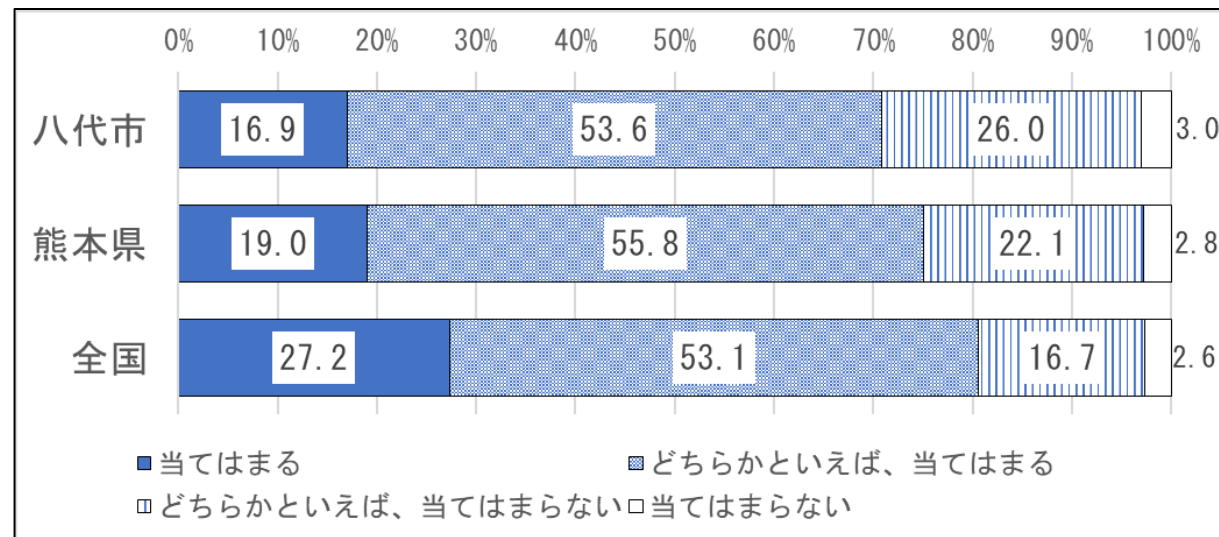
（１）【主体的な学び】に係る質問

○ ５年生（中学校においては、１、２年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

ア 小学校



イ 中学校



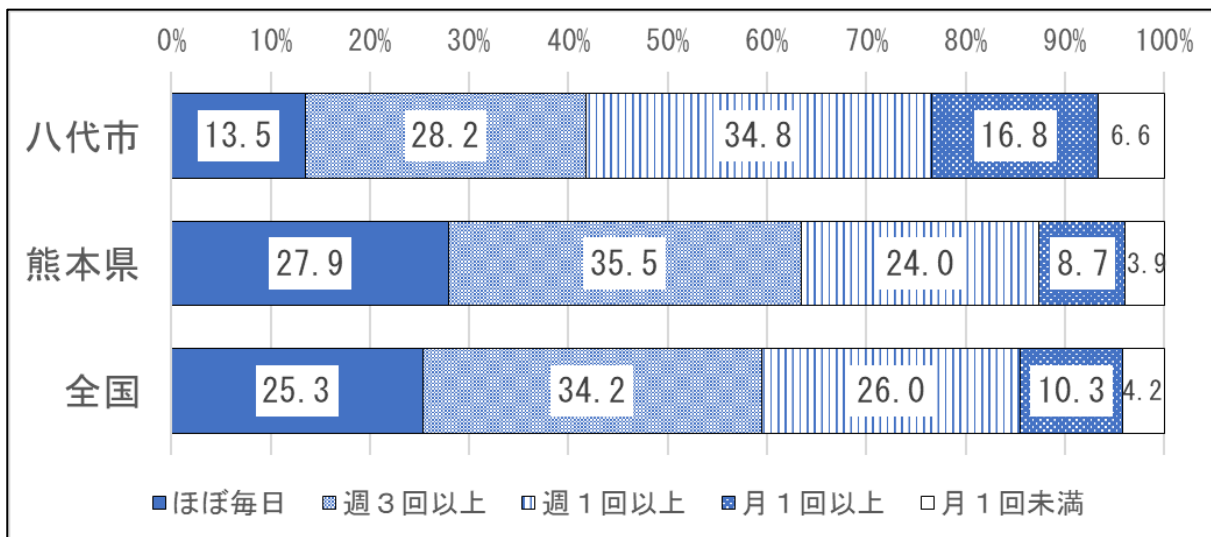
「当てはまる」及び「どちらかといえば、当てはまる」の割合は、小中学校共に熊本県及び全国平均を下回っており、引き続き「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が必要である。

3 質問紙に関する調査の主な結果（小中学校）

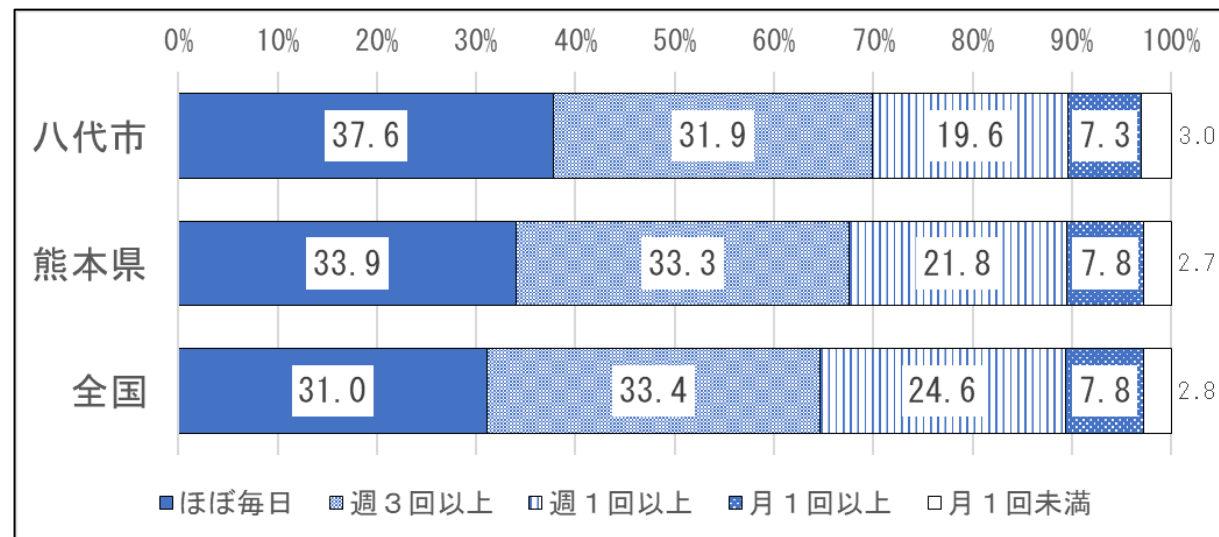
（2）【ICT活用】に係る質問

○ 5年生（中学校においては、1、2年生）までに受けた授業で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用しましたか

ア 小学校



イ 中学校



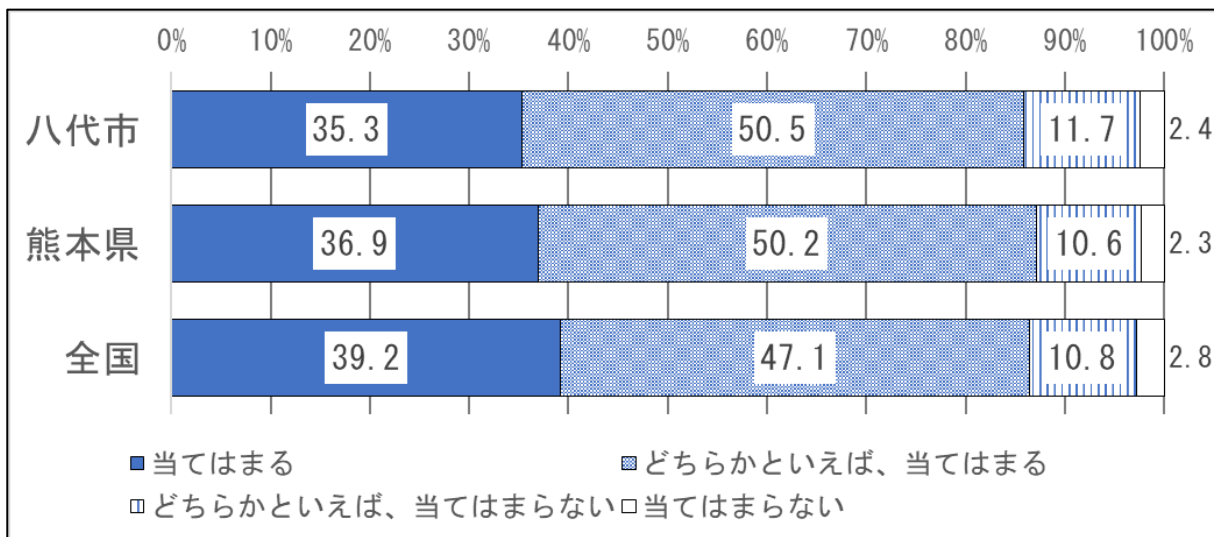
「ほぼ毎日」及び「週3回以上」の割合は、小学校では熊本県及び全国平均を下回っている一方で、中学校では熊本県及び全国平均を上回っており、I C Tの活用が進められている。

3 質問紙に関する調査の主な結果（小中学校）

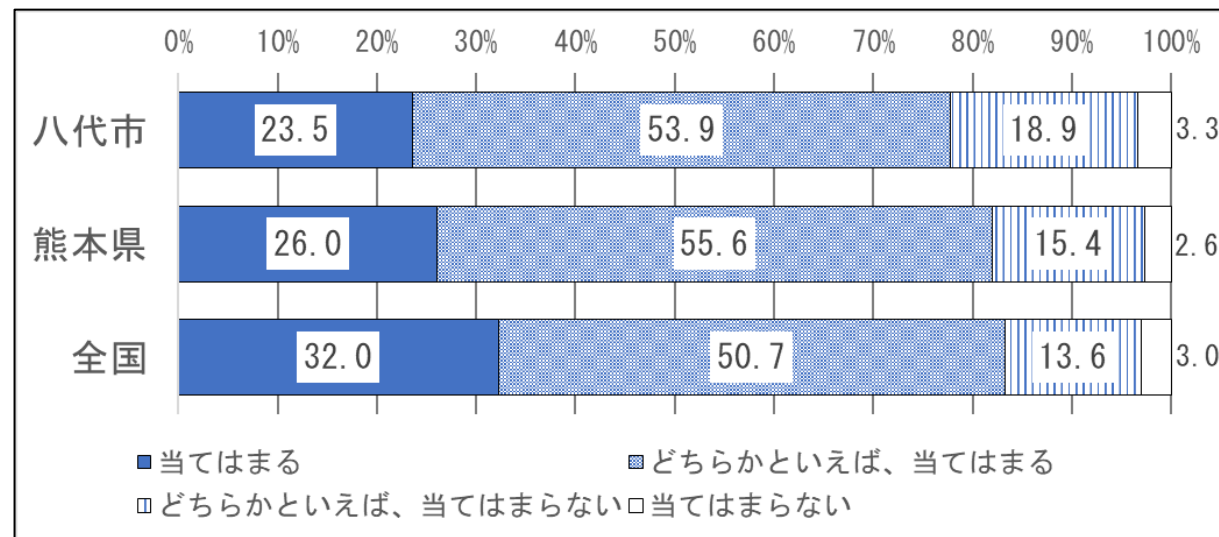
（3）【学習の定着】（国語）に係る質問

○ 国語の授業の内容はよく分かりますか

ア 小学校



イ 中学校



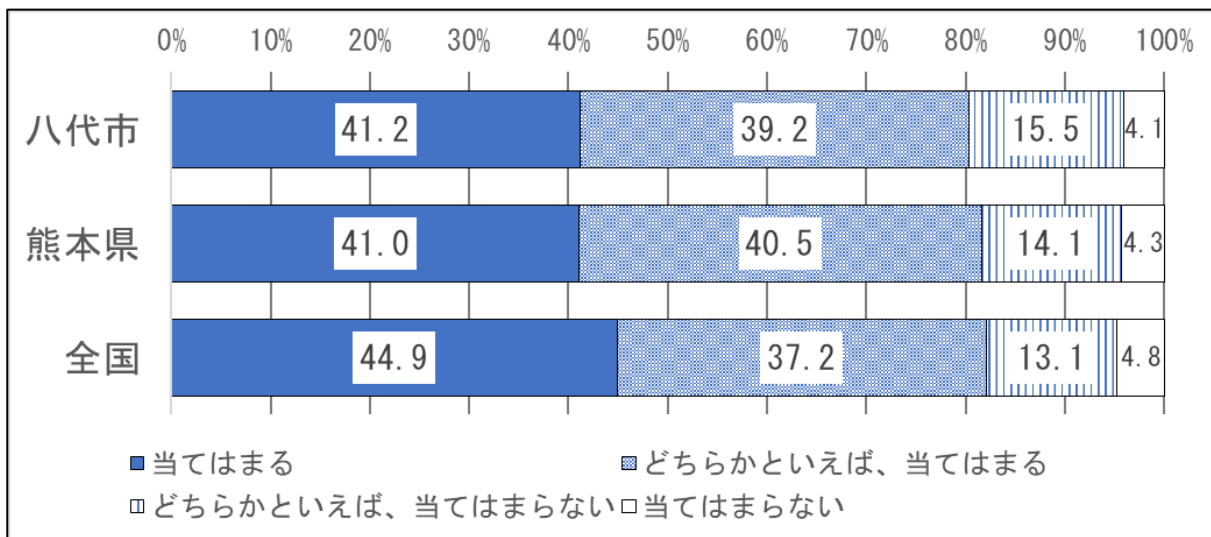
「当てはまる」及び「どちらかといえば、当てはまる」の割合は、小中学校共に熊本県及び全国平均を下回っている。

3 質問紙に関する調査の主な結果（小中学校）

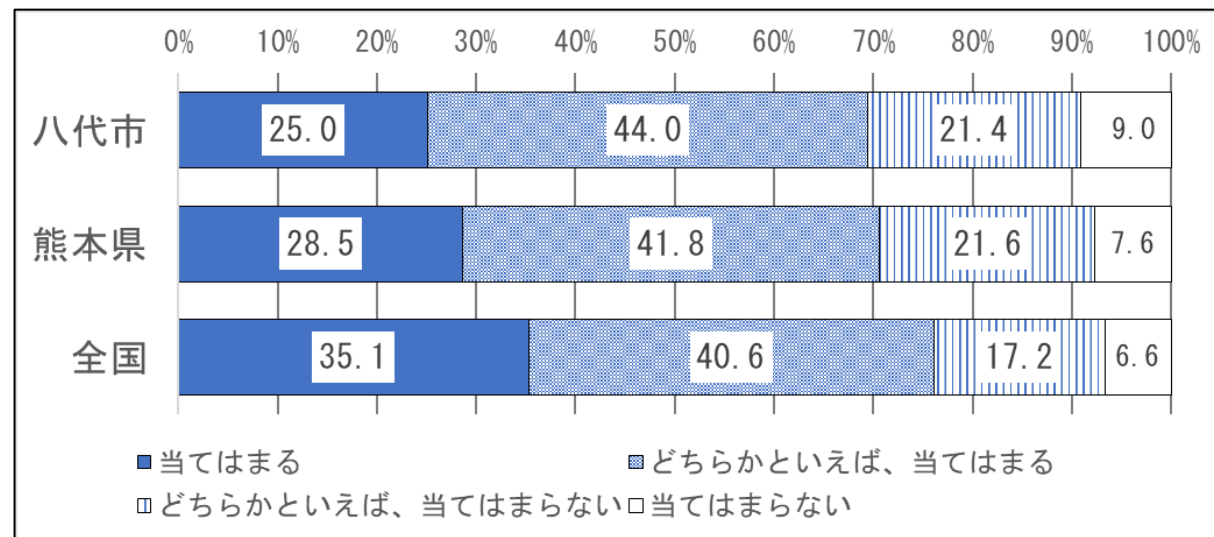
（４）【学習の定着】（算数・数学）に係る質問

○ 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか

ア 小学校



イ 中学校



「当てはまる」及び「どちらかといえば、当てはまる」の割合は、小中学校共に熊本県及び全国平均を下回っている。

3 質問紙に関する調査の主な結果（小中学校）

（５）良好な傾向が見られた質問

単位（％）

質 問 項 目	小学校			中学校		
	本市	県	全国	本市	県	全国
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	91.2	89.7	89.9	92.0	91.0	90.4
友達関係に満足していますか	92.1	91.3	91.1	90.7	90.8	90.1
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	92.3	91.5	91.7	91.9	90.6	89.8
先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	88.3	89.0	87.9	85.1	85.1	84.9

※ 表中の数値は肯定値（「当てはまる」や「どちらかといえば、当てはまる」等を合わせた割合）

4 今後の取組

八代市教育委員会では、本調査等の結果分析を踏まえ、第3期八代市教育振興基本計画に示しております「やつしろの 絆でつむぐ 心豊かな人づくり」の基本理念の下、学力向上に向けて、以下のことに重点的に取り組んでいきます。

- 「子供が主体となって活躍する場面の設定」等を共通実践事項とする「授業改善ステップワン」（右資料）の推進を図り、各学校において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図ります。
- 本市立幼稚園、小学校及び中学校では、「自分からすすんであいさつをする」「話す人の顔を見てしっかり話を聴く」「靴のかかとを靴箱の手前のへりにそろえる」の3点の徹底を図る「やつしろスピリッツ」の実践に取り組んでいます。このことを通して、学力向上の基盤となる学びの土台づくりに努めます。
- 本調査の他に、本市独自の八代市学力・学習状況調査等を実施しています。これらの各種調査を基に、児童生徒の状況を把握し、学力向上に向けた検証改善サイクルを確立します。

【授業改善ステップワン】

いきいきと学ぶ やつしろの子供

学力向上

自己肯定感の向上

（不登校の未然防止）

できた！

楽しい！

分かった！

がんばった！

【期待される子供の姿】

- それぞれの子供が学習課題に対して、集中して、じっくり取り組んでいる姿
- 対話をととして考えを交流したり、練り上げたりして、学びを深める姿

【共通実践事項】

子供が主体となって活躍する場面の設定

【教師のすべきこと】

◎適切な課題の設定

- 子供がやってみたいと思う課題の設定
- 単元のゴールの姿を見通した課題の設定



◎子供の活動時間の保障

- 簡潔・明瞭な指示と説明
- ※教師がしゃべり過ぎない

※子供一人一人の状況を把握し、適切な支援を徹底する

【八代市の子供の実態】

- ・自己肯定感があまり高くない
- ・各教科の勉強があまり好きではない
- ・自分で考えて取り組むのが苦手
- ・授業の内容がよく分かっていない
- ・自分の意見を分かりやすく伝えることに自信がない
- ・家庭学習に課題が見られる

八代市教育委員会